

「三重県 心のノート」活用事例

校 種	小学校	学 年	6年	内容項目	1 - (2)
主題名	希望を持って努力する				
資料名	<ul style="list-style-type: none"> ・夢に届くまでのステップがある 「心のノート 小学校5・6年」(文部科学省) ・たゆまぬ努力で困難をのりこえる 本居宣長 「三重県 心のノート 小学校5・6年」(三重県教育委員会) 				
ねらい	理想に向けて努力しようとする道徳的実践意欲を育む。				
展 開	学習活動と主な発問			指導上の要点	
	<ol style="list-style-type: none"> 1 中学校への不安だと思うことを考える。 (発問)「中学校への不安を出し合おう」 2 自分の夢について考える。 3 地域の偉人『本居宣長』について知る。 (発問)「本居宣長の人生について考えよう」 4 先人の生き方から自分の人生を考える。 (発問)「自分が学びたいと思った人物について考え、まとめよう」 			<ul style="list-style-type: none"> ・中学校に対する不安なことをたくさん出す。 ・心のノート『夢に届くまでのステップがある』に夢を書く。 ・「三重県 心のノート」で、本居宣長について学習する。 ・「心のノート」P18、19に自分のことを書き入れる。 	
他の教育活動との関連	社会科で、国家・社会の発展に大きな働きをした先人として、本居宣長の業績について学習する。				
成果と課題	<p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・6年生の10月という時期に自分の目標を見つめ直すことができた。 ・自分たちの身近な松阪の偉人の生き方を学ぶこと、偉人の生き方・考え方を自分の生き方に取り入れやすかった。 ・イチローと本居宣長の夢に向かうまでのステップを自分の生き方のステップと照らし合わせたり、そこから自分の父親や母親の生き方についても発展して照らし合わせたりして、偉人のことだけでなく自分の身近な人について考える事ができた。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会科に興味・関心がある児童には本居宣長について深く考えることができたが、興味・関心がない児童には、『古事記』の理解や『古事記伝』のすばらしさを理解することが難しかった。 				